

縁結び

1歩踏み出す

あなたの手助けに



結婚お世話役

その役割は、結婚を希望する人たちをサポートすることです。異性との接し方のアドバイスも。市の結婚お世話役として、ボランティアで活動されているお2人話を伺いました。

——結婚お世話役を始めたきっかけは？

本田 市から依頼をされて、結婚に関する相談を受ける仕組みづくりに協力をしていて、2年くらい経ってから結婚お世話役として活動し始めました。

松田 当時、JAに勤めていて若い女性と会う機会が多く、お世話役制度が始まる時に、市から依頼されました。

——お世話役をしていて「うれしい」と感じる場面は？

本田 「交際することになった」と報告を受けたり、成婚した時です。

松田 私も同じです。「結婚することになりました」という報告を受けた時はうれしいです。



ほんだ まなぶ
本田 学さん
結婚お世話役としてご成婚3組

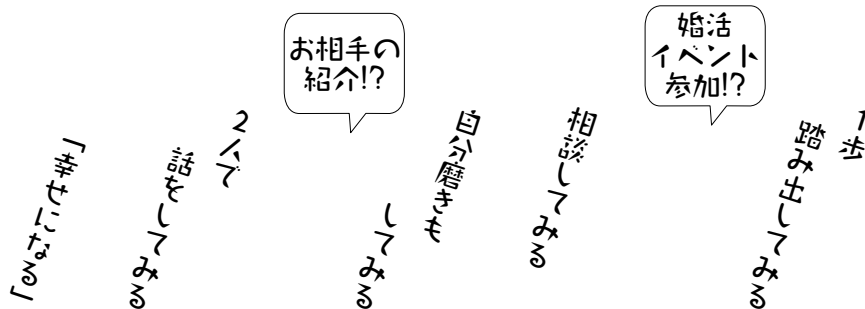
——上手くい「決め手」のようなのはありますか？

本田 男性と女性は考え方が違うことを認識してもらって、ポイントになるような所では、男性にはつきり言ってもらおうようにしています。もちろん、プロポーズも。

松田 私もそう思います。お付き合いの経験が少ない人もいるので、男性にリードしてもらえるとありがたいと思います。ただ、女性が常に受け身でいる必要もないと思いますよ。男性も女性もお付き合いの経験がない人が多いですし。

——相談を受ける際に気を付けていることはありますか？

松田 相談する方の考えを否定しないことです。私が年上になってしま



うので、上から目線でアドバイスをするのではないように、話をしたいと思っています。

本田 本人に希望を持ってもらうようにしています。自分が悪いと思っていることも、それを求めている人もいると思うんです。成婚に結びつくパターンに乗せたいと思います。

——「むずかしいな」と感じた時は？

松田 「合いそうだな」と思って紹介しても合わなかったりした時ですかね。

本田 アドバイスははしていても、自分の考えだけで動いてしまつて、失敗してしまうことですかね。趣味が合うことが一番ではなくて「フィーリング」が合うことが一番かなと思います。趣味が違つても、それぞれが自分の時間を持っていることで上手くいくカップルもいますしね。



まつだ セツ子さん
結婚お世話役としてご成婚2組

成婚した方にお話を伺いました

—婚活で悩んでいたことは？

自分に自信がない。

いままでの生活スタイルが変わってしまうことへの不安。

なかなかご縁が無く結婚できるのが不安。

婚活イベントでカップリングしても交際に至らなかった。

—お付き合い、結婚の決め手は？

価値観が違うことで、お話をすると意外性や面白さがあった。

一緒にいてあまり疲れないこと。

主人の前で、飾らず自然体でいられた。

—お世話役制度で良かったことは？

親身になって話を聞いてもらえた。

親身にその人に合った方を紹介してもらえる。

お相手の情報を教えてもらえるので、告白のタイミングの参考になった。

—結婚を考える方へ

まずは動いてみて！

一人で悩まず、お世話役の方と話してみても自分がどうしたいのかを考えてみるのも良いと思います。

行動に移して1歩でも前に進めれば、出会いが待っていると思います。

自分だけで頑張らないで、(お世話役の方も含めて)いろんなところでご縁を結んでみてはいかがでしょうか。

——結婚を希望する方へ

本田 親身にお世話しますので、ぜひ登録してください。

松田 私もお見合い結婚でした。結婚は、自分のこととして積極的に動くの良い結果に繋がっていくと思います。

結婚お世話役の利用は？

◎ 満20歳以上の独身男女

◎ 結婚に前向き

◎ 市内在住の方が対象

(現在は市外でも将来的に本市に在住を希望する方を含みます。)

新婚夫婦もサポート！

新規に婚姻した世帯の新生活を支援するため、新たに民間賃貸住宅を借りる新婚夫婦を対象として、敷金・礼金・引越費用を助成します。

※ 所得(夫婦所得の合算が400万円未満)、年齢(婚姻届提出日における夫婦双方の年齢が39歳以下)などの要件があります。



◎ 問い合わせ：

子育て支援課子ども家庭係

☎ (55) 5094

Fax (22) 1547